

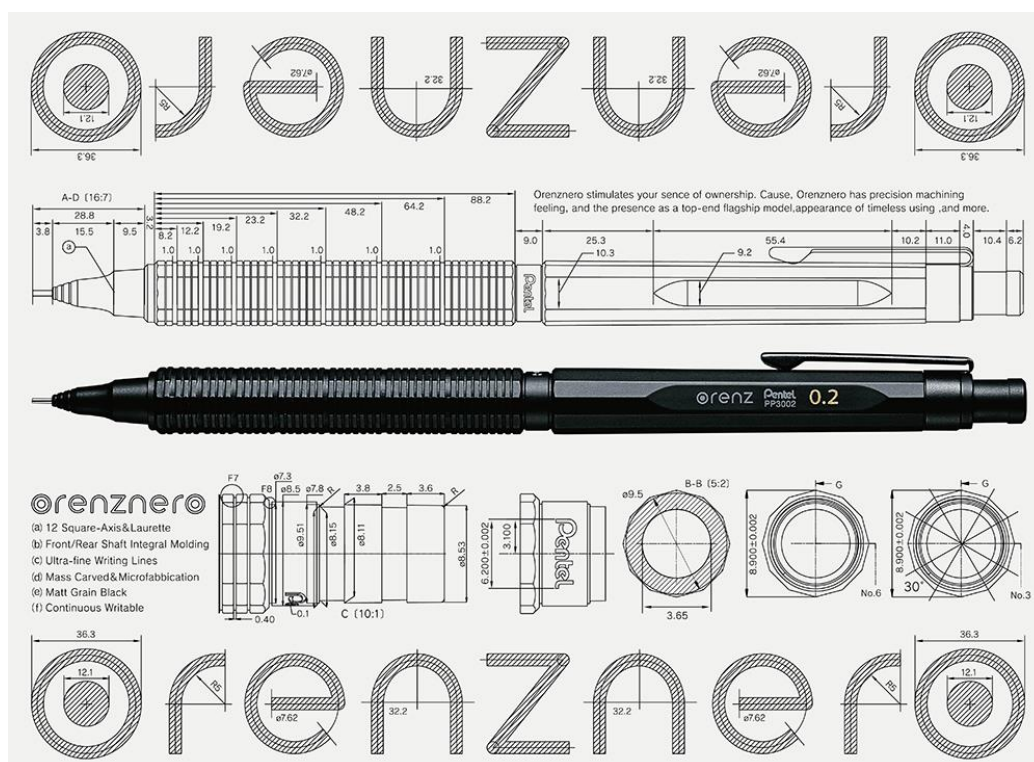
2017.2.15

ぺんてる株式会社

シャープペンシルの到達点

「ノック1回で」「芯が無くなるまで」「折れずに」書き続けられる！

ぺんてる株式会社(本社:東京都中央区日本橋小網町7-2、代表:和田 優)は、ノック1回で芯が出続ける「自動芯出し機構」を搭載したシャープペンシル、オレンズネロを2017年2月16日より出荷いたします。



国内のシャープペンシルの販売規模は年々増加しており、製図用を中心とする1000円以上の高価格帯な製品も人気が高まっています。

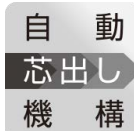
ぺんてるは、1960年に世界初のノック式シャープペンシルを生み出し、その後も芯径0.3の製図用シャープペンシルを開発するなど、革新的な製品を世に送り出してきました。今回発売するオレンズネロは、半世紀にわたり追求してきたシャープペンシル技術を結集した、究極のフラッグシップモデルです。ぺんてるを代表するシャープペンシルのDNAを受け継ぐマットブラックの細身ボディに、芯径0.2としては世界初となる「自動芯出し機構」を搭載。たった1回のノックで、極細の文字を書き続けることが可能になりました。

シャープペンシルが好きな方はもちろん、時計やカメラなど道具へのこだわりが強い方の所有欲も満たす、文房具の域を超えた1本です。



●商品特長

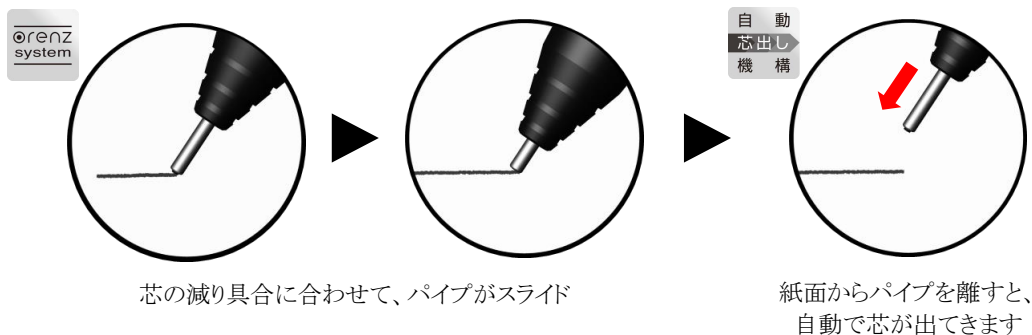
1. ペン先を離すたびに芯が出てくる！ロック不要の「自動芯出し機構」
 ペン先のパイプが紙面から離れるたびに、自動で芯が出てくる機構を搭載。
 1回のロックで、芯が1本なくなるまで書き続けられます。
 この機構が芯径0.2のシャープペンシルに搭載されるのは世界初です。



2. パイプで芯を守って書く！芯の折れない「オレンズシステム」
 芯の減り具合に合わせて、ペン先のパイプがスライド。
 パイプで芯を守りながら書くので、芯径0.2・0.3の極細芯でも折れません。



「自動芯出し機構」と「オレンズシステム」の仕組み



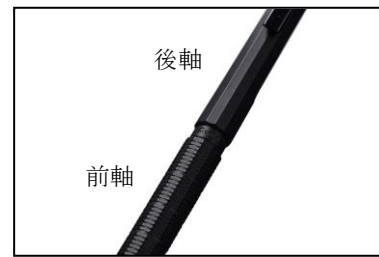
3. マットブラックの細身ボディ

グラフ1000やスマッシュ、ペンてるメカニカなど、ペンてるを代表する高性能シャープペンシルのDNAを受継いでいます。ラグジュアリーな高級感ではなく、道具としての完成度を研ぎ澄ました実用性の高いツールであることを表現しました。



4. ブレのない12角形の一体軸

前軸と後軸に継ぎ目がないことで、ブレない書き心地を実現しました。持った時の安定性と、筆記時の操作性に優れています。



5. バランスにこだわった低重心グリップ

書くために最適な重量バランスを追い求め、樹脂と金属粉を混ぜ合わせた特殊素材を採用しました。軽い筆圧で安定して書き続けられます。



●販売仕様

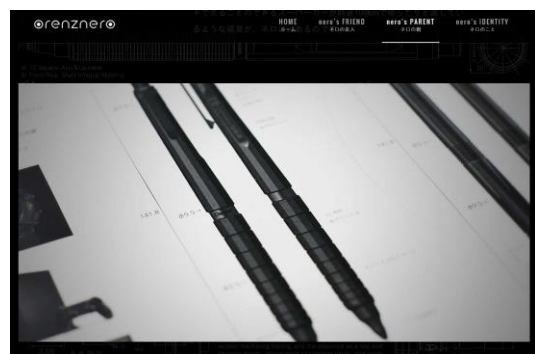
製品名	軸色	芯径・内蔵芯	品番	小売価格
オレンズネロ	ブラック	0.2 / HB	PP3002-A	1本 ¥3,000 + 消費税
		0.3 / HB	PP3003-A	



●オレンズネロ スペシャルサイト

オレンズネロの「こだわり」が詰まったスペシャルサイトを開設しました。

<http://www.pentel-orenznero.jp>



◎お問合せ先

ぺんてる株式会社 お客様相談室 (フリーダイヤル)0120-12-8133

◎(リリースに関するお問合せ先)

国内営業本部

マーケティング推進部 飯塚

(直通電話番号:03-3866-6866、メールアドレス:manami-iizuka●pentel.co.jp)

※メールでご連絡いただく場合は、●を@にご変更ください。

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-6-10